

第7回教育支援コーディネーター・フォーラム(報告⑤)

第2部 テーマ別分科会 (13時30分から16時30分まで)

□ 分科会Ⅰ「出張授業・研究授業体験を通じて考えあう～学校支援の取組を育む学校・コーディネーター・支援団体(企業)の関係～」□ 【大会議場】

過去2年、学校支援をテーマとする分科会Ⅰでは、「ワールドカフェ」形式による情報交換を行ってきました。今回は趣向を変え、学校支援の中でも、「授業」への支援をテーマの中心に据えた分科会でした。

実際の「出張授業」の体験をひとつの素材として、「授業」支援の関係者であるコーディネーターや支援団体にとっての授業づくりプロセスにおける関係や役割について、考える機会として企画しました。

プログラムは①実際に企業が提供する「出張授業」を体験する、②体験した「出張授業」づくりのプロセスを解説する、③「出張授業及び授業づくり」全体を「講評」により位置付け評価する、という3つの構成です。いわゆる「研究授業」の形式を模した試みでもありました。

160名の方々にご参加いただき、大会議場に用意された約40の丸テーブルに、企業・NPO、コーディネーター、行政関係者の、普段は所属の異なる4、5人が同席し行われました。

(1) 【模擬授業】「食育出張授業『おいしさって何だろう?』」を参加者全員が小学生になって体験

「今日は、みなさん小学校6年生になりきって、出張授業を体験していただきます」との澤村優子さん(ハーゲンダッツ ジャパン株式会社総務人事部)による呼掛けで、[模擬授業]「食育出張授業『おいしさって何だろう?』」がスタートしました。

ハーゲンダッツ ジャパン株式会社では、「食育」をテーマに平成21年度から出張授業を行っています。今回体験したプログラム内容は、従来のプログラムを見直し、平成25年度から始めたばかりの新たな「授業」プログラムです。

通常は45分×2コマ、今回は計80分で実施されました。中盤の班毎の「商品開発」体験がプログラムの中心です。



班ごとの商品開発の様子



開発した商品案を班全員でプレゼン



「感想より」「ハーゲンダッツの商品開発授業は楽しかった」

(2) 【解説】出張授業が生まれるまでの経緯

今回体験した出張授業は、25年度に新プログラムとしてあらためて始動したプログラムでした。その新プログラムが誕生した背景について、教育支援コーディネーターとして関わった椋下聡美さん（NPO 法人世田谷まなびばネット理事長）と、澤村さんのお二人から、そのプロセスについて、解説していただきました。

プロセスを四段階（①旧プログラム時代、②「学校から依頼はあるが」、③気づきと見直し、④新プログラム始動）に分けて説明し、新プログラムにおける児童の感想の変化などについてご紹介いただきました。



(3) 講評



研究授業の形式を模した今回の分科会の最後は、国立教育政策研究所総括研究官の山森光陽さんに、「企業提供の授業づくりにおけるコーディネーターと企業担当者の関係」として講評をいただきました。

「『授業』支援を手がけるのであれば学校や授業に対する深い見識が不可欠」であることを確認しつつ、「コーディネーター」や「企業等」のそれぞれが果たすべき役割や、共同での「授業づくり」の際に持つべき観点などについて、示唆に富んだコメントをいただきました。

〔第二部分科会 I の感想より〕

企業等支援団体の参加者

- ・山森先生の講評が（あの短時間でまとめられるなんて）すばらしかったです。あらためてコーディネーターの重要性を認識しました。体験の授業も楽しく、進め方など、勉強になりました。
- ・旧プログラムから新プログラムへの歴史が興味深く参考になりました。山森先生の講評で、授業の作り方に関する内容がとても素晴らしく、日頃の活動で感じている事を追認していただけたと感じました。
- ・様々な立場の方と普段の活動・仕事の中で感じていること、こうしたいと思っていることが共有でき、更に自分の中で深まりました。
- ・出張授業を企画、実施する者としてたくさんのヒント・学び・そして勇気をいただきました。

コーディネーター

- ・実際の授業を体験できて良かった。同じテーブルの方と意見交換出来て勉強になりました。
- ・非常に勉強になりました。子供達の感想「楽しい」は鵜呑みにしてはいけない。もっと学校が求める目的を明確に知って、「授業」支援に貢献したいと思いました。
- ・授業支援の在り方について、再考させていただきました。なかなかお忙しい先生とお話することができませんが、頑張っていきたいです。
- ・第2部分科会に初めて参加しました。高度な濃密な内容に、コーディネーターとしてつぶれそうな気もしましたが、前向きにとらえて、学校の授業見学などをする必要性を感じました。